

2011年6月3日

日本マイクロソフト、Jabra ヘッドセットソリューションを全面的に採用

— 震災時にもユニファインドコミュニケーションの有効性を発揮 —

GN ネットコムジャパン株式会社 (GN Netcom A/S の日本法人、東京都中央区、代表取締役社長: 安藤 靖、以下 GN ネットコムジャパン) は、日本マイクロソフト株式会社 (本社: 東京都品川区、代表執行役社長: 樋口 泰行、以下 日本マイクロソフト) が、2011年2月の新本社オフィス移転を契機に、ほぼ全従業員が電話対応に、Microsoft(R) Lync(TM)のVoIP 外線通話機能と Jabra のオフィス向けヘッドセット Jabra GN2000 USB DUO を採用したことを発表しました。

ユニファインドコミュニケーションを提唱している日本マイクロソフトでは、新オフィスの移転に伴い、労働環境の改善を重要視しました。特に、営業部門のスタッフには、固定席がないフリーアドレス性を導入することとなり、自由に電話応答できるヘッドセットが不可欠となりました。通常、ヘッドセットを使用したIP電話では音声品質が懸念されますが、Jabra GN2000 USB DUOは、最大6,800Hzまでの全域で周波数特性とGNネットコムが長年培ってきた安全で最適に“聴くこと”へのノウハウを活かし、良質の音響と豊かな受信信号を確保します。この品質の良さが認められ、2007年以来、GNネットコムジャパンは、日本マイクロソフトの音声分野で協業しています。

「ビジネスにおいて、ヘッドセットは一般的に、そのクオリティを軽視されがちですが、通話の音質を左右する重要なツールです。Jabra GN2000 USB DUO については、もちろん Microsoft Office Communicator 及び Microsoft®Lync™の認証モデルであり、音質が良く、声が不鮮明で何度も聞き返すようなことがなくなるので、それが決め手となって導入したのですが、実際に VoIP 通話やビデオ会議で、快適でスムーズな会話が実現できています。」と日本マイクロソフト インフォメーションワーカービジネス本部 IW サーバー製品マーケティンググループの米野氏は述べています。

さらに、米野氏は、「震災後、しばらくの間自宅待機となったのですが、社内でもヘッドセットと PC1台で、どこでも仕事ができる環境を完備していたおかげで、スタッフ間でのミーティング、他社との電話会議、外部からの社内ネットワークの利用ができ、ほとんど支障なく仕事ことができました。」と、場所を選ばない働き方が可能であることを実証しています。

今後、ユニファインドコミュニケーションが普及することで、働き方に変化が起き、それに伴いヘッドセットがビジネスシーンに不可欠になってくることが予想されます。

Microsoft(R) Lync(TM)は、日本マイクロソフト株式会社が提供する、次世代のユニファインドコミュニケーション プラットフォームです。プレゼンス、IM、オンライン会議、VoIP 電話機能が、単一インターフェースに統合され、いつでも、どこからでも、素早く適切なコミュニケーションを開始できます。また、Microsoft Office、SharePoint、Exchange との連携も強化されており、日常業務の様々なシーンで、慣れ親しんだアプリケーションから簡単に利用することができます。

GN ネットコムについて

デンマーク(コペンハーゲン)を本拠とする業務用およびオフィス向け、コンシューマー向けヘッドセットメーカー、Jabra(ジャブラ)ブランドを展開している、GN Netcom A/S 社の日本法人。140年前に電信会社として創業して以来、“聴くこと”に注力して培われてきた先進の機能性と、シンプルで高度なデザイン性を兼ね備えた Jabra ブランドのハンズフリーヘッドセット製品は、ヨーロッパをはじめ米国、アジア各国など、広く世界で高い評価を得ています。詳細は、弊社ウェブサイトをご覧ください: <http://www.jabragn.jp/>

Jabra製品についての問い合わせは、GNサポートセンター 03-3242-8572 又は sales@gnetcom.co.jp にお願致します。



PRESS RELEASE

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

旭エージェンシー 牟田(むた)

03-5766-2753 携帯: 090-4845-9689

jabra-pr@asahi-ag.co.jp